

米朝首脳が3度目会谈

非核化 実務協議再開へ

米国のトランプ大統領が6月30日、南北軍事境界線にある板門店で北朝鮮の金正恩国務委員長と会談し、包括的な合意に向け、近く米朝双方の代表団による実務交渉を始めると発表



南北境界の板門店で6月30日、金正恩北朝鮮国務委員長(左)と会談するトランプ米大統領=30日放映のNHKニュース7より

したことについて日本共産党の志位和夫委員長は談話を発表。「膠着状態にあった米朝関係を前向きに打開し、朝鮮半島の完全な非核化と平和体制

の構築、米朝関係の正常化という昨年6月のシンガポールでの米朝合意を具体化する重要な一歩として、わが党は歓迎する」と表明しました。

板門店会談を歓迎 志位委員長が談話

そして敵対と分断の象徴とされてきた板門店で、米国、南北の3カ国が初めて対面したことについて「朝鮮半島情勢の激動的変化と新しい米朝関係にむけた動きを象徴する歴史的意義をもつものとなった」「板門店でのこ

日本共産党の出来事が、朝鮮半島と北東アジアの平和プロセスを進展させる契機になることを強く願う」と述べています。

制度解説

比例代表は政党名を 個人名でも投票できます

困り
ます

制度続くが暮らしは減る

首相 年金7兆円減か

共産党 減らない年金か

7兆円の年金削減か、「減らない年金」かが、7月21日の選別の大争点に浮上しています。「マクロ経済スライド」制度を廃止し「減らない年金」の実現を提案する日本共産党に対し、安倍首相は同制度の廃止には「7兆円の財源が必要」と言明しました。

厚労省によれば7兆円は、2040年度の基礎年金の減額幅。基礎年金の満額は6万5千円からさらに約2万円も減らされます。

首相は「年金の持続性確保に必要」と言いますが、年金制度は持続しても老後の生活は完全に破たんします。

日本共産党の躍進で、安



安倍首相



共産 志位氏

マクロ経済スライド

年金の持続性の確保に必要な仕組みだ	低年金者ほど打撃が大きい。廃止すべきだ
-------------------	---------------------

年金財源

年金を増やす打ち出の小づちなど存在しない。野党は具体的な対案を示せ	高所得者優遇の保険料見直しで1兆円。賃上げ、非正規雇用の正社員化、年金積立金の活用など提案
-----------------------------------	---

19年度の年金給付額

名目で0.1%増やした	実質では0.9%減。安倍政権の7年で6.1%減だ
-------------	--------------------------

政治の役割

ただ不安だけあおるのは無責任な議論だ	現実を直視し安心の年金に変えるこそ政治の責任
--------------------	------------------------

心の年金への一歩を踏みだしましょう。

日本共産党

近畿民報

2019年7月 No.2(第373号) 発行/日本共産党国会議員団 近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号 Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115 Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。

折り目